

令和 7 年度 第 1 回学校運営協議会抄録

日時:令和 7 年6月4日(水)17:00～ 場所:本校 会議室

出席者:池内(おかやま発達障害者センター)、入口(市教育委員会)、大岩(株式会社ドワンソーイング)、岡村(玉野備南高校長)、小川(市生涯学習センター)、河内(市商工観光課)、角田(後援会会長)、妹尾(玉野市適応指導教室)、中島(中島工業株式会社)、三澤(日比中学校長)、事務局:教頭、主査、教務課長(教育相談室長)、進路課長、生徒課長、普通科長

1. 開会(玉野備南高校長)

玉野備南高校に着任して2年目となった。昨年度は、定時制での勤務が初めてで戸惑うこともあったが、生徒は素直で、学校は落ち着いた様子で安心している。今年度は26名の一年生を迎え、全校生徒62名でスタートを切った。学習態度もみんな真面目で、授業も真剣に聴いているのが印象的である。部活動も活発に活動し、ソフトテニス部とバドミントン部が日頃の成果を発揮し、全国大会への出場を決めた。本日は、委員の方々から貴重なご意見をいただき、学校運営に生かしていきたい。

2. 委嘱状交付 委任状の確認

3. 自己紹介

4. 会長・副会長の選出(選出後の進行は角田会長による)

委員の互選により、会長に角田委員、副会長に保護者代表の高橋委員が選出された。

5. 意見聴取と協議(一部を抜粋)

(1)今後の方針について(事務局より各担当から説明)

- ・令和7年度学校経営計画・グランドデザイン・三つの方針について説明
- ・令和6年度学校評価アンケートの説明
- ・学校経営の具体的計画について、各分掌の係から本年度の目標と具体的計画を説明

【具体的な取組】

- ・エアコンの効きの悪い部屋があるので、遮光シートで屋根を覆い学習環境を整える。
- ・見てわかりやすい黒板の使い方を考える。
- ・遅刻過多の生徒に面談等を実施し、生活習慣の見直しを図る。
- ・インターンシップ・就労体験を実施することで、生徒が自分自身の適性を考えるとともに、玉野市内の企業への理解を深める。
- ・手帳を活用することで、生徒自身が自分のスケジュールや時間を管理する。
- ・ICT や隙間時間の活用で情報を共有する時間を増やし、教職員が協働的に働く仕組みを整え、時間外在校等時間が月45時間(年間360時間)を超えないようにする。
- ・商工会議所等が行うイベントに参加し、生徒の自己肯定感の育成を図る。
- ・入学前の学校見学の際に学校の理解を促し、ミスマッチを防ぐ。
- ・スクールカウンセラーとの面談や日頃の丁寧な担任との面談の実施を行うことや、通級での指導を行うことで、対象生徒の個々の実態に合わせた指導を図る。

【各委員より】

- ・外部機関と連携しての就労支援は今後も継続して欲しい。
- ・社会に出ると遅刻・無断欠勤は許されないことなので、遅刻過多の生徒に対して面談等でしっかりと指導していただきたい。
- ・遅刻・欠席は、子どもの思いなのではないか。学校に行くのが嫌な気持ちから行きたい気持ちになるために、何らかの手立てが必要だと思う。
- ・知っている人がいると自分が出せるが、人見知りする生徒が多いので(就職のことも考えて)玉野の企業とつながる機会を作って欲しい。
- ・インターンシップに参加する前に、事前に企業の方と顔合わせする機会があればよいと思う。
- ・地域連携をすることで社会との繋がりが深まると思われる。しっかりと連携して欲しい。
- ・学校は忙しいので、地域でできることは地域におまかせしてはどうか。

☆学校経営目標や学校経営の具体的計画等は承認された。

(2)その他

その他の協議はなし

6. 事務連絡

今後の予定について、学校運営協議会は年3回(6月、11月、2月)開催予定、臥竜祭は11月7日(体育の部)と12月11日(文化の部)に開催予定。ソフトテニス部とバドミントン部が夏の定時制通信制体育大会に出場することが決まりました。

7. 閉会(角田学校運営協議会長挨拶)

学校運営協議会でいただいた意見が、生徒一人一人の学校生活の充実や学校の発展につながっていきます。これからも学校運営協議会では、玉野備南高校がより良い方向に進むよう支えていきたい。長時間の熱心な協議に感謝する。